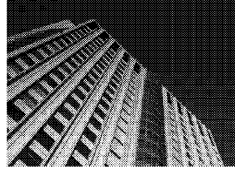


大切なビルを、
未来に活かすために。



高度経済成長期以降に建てられたビルが次々と老朽化を迎え、ストック対策が喫緊の課題です。今ある資産を、未来に活かすために、大気社のリニューアル技術や省エネ技術で、機能や質の充実を目指し、ビルのスマート化、セキュリティ化を進めています。大気社は、お客さまの大切なビルの資産価値向上に、貢献していきます。



【ビルリニューアル】

環境をつくる技術は、
未来をつくる技術。
大気社

空調設備 / 給排水衛生設備 / クリーンルーム / 塗装プラント / 環境保全設備の設計・施工 | 東京(03)3365-5320 大阪(06)6440-7311 | www.taikisha.co.jp

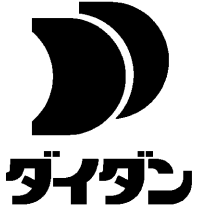
未来のビルはZEB(ゼブ)になる。

ZEBとは、太陽光・地中熱の利用や照明・空調などをデザイン&コントロールし、エネルギー消費量を限りなくゼロにしなが、快適性も実現した建物。
ダイダンは人と地球にやさしい未来のビル、ZEBの普及を推進しています。

ZEB = Net Zero Energy Building / ネット・ゼロ・エネルギー・ビル

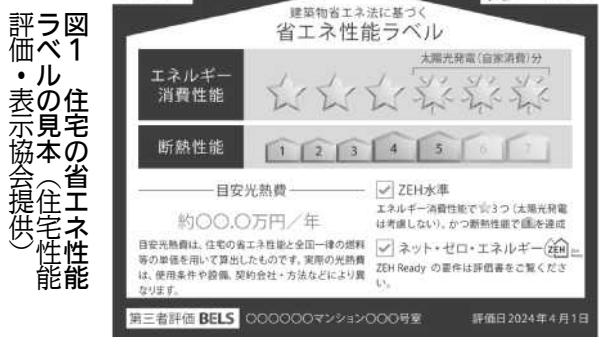


ダイダンは、経済産業省が定める「ZEBプランナー」「ZEBリーディングオーナー」に認定されています。



ダイダンの最先端テクノロジーがここに → <https://www.daidan.co.jp/>

ビル・建築物の環境対策



省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

対象建築物は24年4月1日以降に建築確認申請を行う新築物件(図3)。**住宅**は分譲一戸建て、分譲マンション、賃貸住宅など。非住宅は賃貸事務所ビル、貸しテナントビルなどが対象になる。注：ラベルの評価方法でも、ラベルの自宅や自社ビルは対象外。

企業一環配慮型ビルを選択

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

住宅やビルなど建築物の利用による二酸化炭素(CO₂)排出量は、日本のCO₂排出量の約3分の1を占めている。50年のカーボンニュートラル実現のために、建築物のCO₂排出量の削減が急務だ。

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

図3 対象となる建築物

対象	対象外
2024年4月以降に建築確認申請を行った物件	2024年3月以前に建築確認申請を行った物件
建築確認(一棟工)	建築確認(一棟工)
再販売(買取再販含む)・再賃貸	再販売(買取再販含む)・再賃貸
表示が必要	表示は任意

省エネ性能表示制度4月に開始

建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度

ビルは省エネルギー性能で選ばれる時代へ。4月から国の新制度、建築物の販売・賃貸時の省エネ性能表示制度が始まる。不動産の広告に、建築物の省エネ性能を示すラベルを表示する取り組みだ。建築物の販売・賃貸に関わる全ての人が担い手になる。ビルオーナーを含む売り主・貸主は、広告に専用のラベルを表示する努力義務を負う。国が目指す2050年のカーボンニュートラル(温室効果ガス排出量実質ゼロ)に向け、重要な一歩になりそうだ。

省エネ性能ラベル「星」で評価

住宅やビルなど建築物の利用による二酸化炭素(CO₂)排出量は、日本のCO₂排出量の約3分の1を占めている。50年のカーボンニュートラル実現のために、建築物のCO₂排出量の削減が急務だ。

建築物の省エネ性能表示制度は、不動産広告に建築物の省エネ性能を星の数で評価したラベル(図1・2)を表示して、性能を一目で分かるようにするものだ。改正建築物省エネ法に基づくもので、消費者に建築物の省エネ性能への関心を高め、導入される。

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

省エネ性能が高い建築物は、断熱性にも優れ、入居後の光熱費を安く抑えられる。ラベルで性能を可視化して、省エネ性能の高い住宅やビルが選ばれ、市場にしていこう、という官民挙げた試みだ。

三協アルミ

サステナビリティビジョン2050
Life with Green Technology

ダイナミックインシュレーション窓 MTG-70R+DI
定風量給排気換気スリットキャプション
改修用たて型換気装置エアリット
改修用よこ型換気装置エアリット-W

さあ、換気しよう

そこで過ごす人が明日もすこやかにいられるよう、わたしたちにできることのひとつが「換気」です。三協アルミは換気ができるさまざまな窓を取り揃え、みなさまの換気のお手伝いをいたします。

<https://buildingsash.net/>

バランス式逆流防止窓 スウィンドウ
横軸回転自然換気窓 BRæTH
自然換気システム たて型換気スリット/たて型定風量換気スリット
自然換気システム よこ型換気スリット/よこ型定風量換気スリット

三協立山株式会社

未来を創造し次代へつなぐ。

三建設備工業は、総合エンジニアリング企業として、
ZEB = Net Zero Energy Building
《ネット・ゼロ・エネルギー・ビル》を推進しています。

SANKEN ENVIRONMENTAL ENGINEERING
NET ZERO ENERGY BUILDING

「ZEB LIVE 実況中!」

空気と水の環境創造企業
SANKEN 三建設備工業
<https://skk.jp/>

ZEB PLANNER ZEB29P-0006-PGC

ダイダマン

ダイダマンはカーボンニュートラルに向けてZEBを推進する。2019年に「完全ZEB」のエネフィス四国を建設し、21年には寒冷地の完全ZEBとしてエネフィス北海道を完工、22年には環境配慮と働きやすさの両立を目指して北陸支店を建て替え、「ZEB Ready」を達成した。

ZEBは設計段階で認証されるが、同社は運用段階での達成に着目。エネフィス四国と北海道では、クラウド型ビル監視システム「リモビス」を活用し、遠隔監視と遠隔エコチューニングにより運用段階での完全ZEBも達成した。

三協立山

三協立山が販売する「DI窓」は、窓を開けずに「室温に近い換気」と「外壁並みの高断熱」を実現する二重窓。上部のユニットに換気機能を持たせ、取り入れた外気を外窓と内窓の間で対流させることで、窓から逃げる熱を回収。外気を室温に近い温度で取り入れる。この二つの機能を持つ点や同ユニットの工夫が評価され、2022年度グッドデザイン賞を受賞した。

また、防火設備として認定された「防火タイプ」を追加発売。防火地域や準防火地域の超高層マンションでの使用も可能になった。

大気社

大気社は自然エネルギーの活用技術と各種温熱環境シミュレーション技術によって、省エネルギー性能の高いビルの実現と地球温暖化防止への貢献を目指す。

IT社会の基盤となるデータセンターには、冬期の大気を利用したフリークーリングシステムによる省エネ化と、室内気流シミュレーションによる空調機器の合理的な配置を提案している。

オフィスビルでは室内ゾーンと窓際ゾーンの温熱環境シミュレーションによって、バランスの良い執務環境の実現を目指している。

三建設備工業

三建設備工業はZEBの普及を推進する。2013年度に同社つくばみらい技術センターで業界に先駆けて「ZEB」を達成。その後もZEBプランナーとしての実績も積み上げてきた。

同社の研修施設「さいたま技術センター」(ZEB Ready)では、働き方の多様化への対応および、バイオフィリックデザインを導入。心身ともに快適となるよう健康維持・増進に配慮した室内環境を提供し、CASBEI「ウェルネスオフィス認証評価」では「Sランク」を取得した。

ウェブでニュースはいかがですか？



ニュースイッチ
NEWSWITCH

<http://newswitch.jp/>

■ ニュースイッチとは？

日刊工業新聞社のニュースをはじめとするコンテンツを、もっと新鮮に、親しみやすくお届けするサイトです。少し硬い、難しいニュースをわかりやすく、または詳しく。話題のニュースから、小さいけれどちょっと面白いニュースを幅広い読者へ。そしてニュースを起点に、コミュニティーを少しずつ作っていただけると考えています。

■ 独自のテーマ

ニュースイッチ編集部が独自に企画・取材した特集記事をはじめ、新聞とは一味違う切り口でニュースをお伝えします。

■ 記者が記事選定・コメントをプラス

日刊工業新聞の記者がテーマごとに気になる記事を紹介、コメント。記事や取材背景を解説します。